

学校評価アンケート 前期集計結果のまとめと今後に向けて

- 実施期間：9月17日（水）～9月30日（火）
- 実施方法：Google フォームを用いたタブレット PC、スマートフォン等による回答
- 回答者数：在籍生徒 99 名中、38 名（全体の約 38.4%）が回答
- 回答方法：回答者は、①「そう思う」②「どちらかといえばそう思う」③「どちらかといえばそう思わない」④「そう思わない」⑤「判断できない どちらともいえない」⑥「授業や活動にあまり参加していないので、回答できない」から一つを選択。
- 評価基準：回答①、②を合計した肯定的な評価が、全体の 8 割以上であれば「A」、5 割以上であれば「B」、5 割未満であれば「C」とする。
(集計表の右下に、ABCで記載。)

1. はじめに

回答総数は 38 名です。在籍は 99 名で、回答率は約 38.4%です。これまでの回答率は令和 4 年度前期が 71.7%、後期が 48.3%、令和 5 年度前期が 57.4%、令和 5 年度後期が 52.8%、令和 6 年度前期が 54.8%、後期が 48.6%でした。回答率がこれまでで最も低くなっていますが、出席している生徒はほぼすべて回答しています。出席率が下がっていることが、主な原因と考えられます。

昨年度のアンケートから、選択肢の中に⑤「判断できない どちらともいえない」⑥「授業や活動にあまり参加していないので、回答できない」を設定しました。理由は、以前の選択肢にあった「わからない」を選んだ生徒が、質問の内容が判断できないのか、参加していないから分からないのかがはっきりしなかったからです。質問項目によりますが、⑤「判断できない どちらともいえない」と回答した生徒が最多で 9 名 (23.7%)、⑥「授業

や活動にあまり参加していないので、回答できない」と回答した生徒が最多で2名(5.3%)となりました。⑥の回答者が少ないことから、今回のアンケートに回答した生徒は出席が多いと考えられます。

2. 学校運営、教育活動全体に対する満足度

今回のアンケート結果では、全20項目中、13項目で①「そう思う」と②「どちらかといえばそう思う」を合計した肯定的評価がAとなる80%を超えています。残りの7項目が70%台です。肯定的評価の高い項目が多く、本校の学校運営や教育活動に対して、一定の理解と高い評価をいただいたと考えています。

質問1「私は安心して学校生活を送ることができている。」に対する肯定的評価は全質問中最も高い94.7%です。質問2「学校で学ぶことは楽しい。」に対する肯定的評価は2番目に高い92.1%です。多くの生徒が、現在の学校生活に一定の満足感を得ながら、安心して生活し、学校での学びを楽しんでいることがうかがえます。

上記の質問の回答は例年高い評価となっていますが、今後も引き続き、生徒がより安心した学校生活を送るために、どのようなことが必要なかを考えて、実践していきます。

3. 教育活動、教育環境の一層の充実を目指して

(1) 学校での「学び」に関すること

学校での「学び」に関する質問3～12では、肯定的評価の割合が80%を超えている評価Aが7項目あり、肯定的評価の割合が50%を超えている評価Bが3項目あります。

質問3「学校での授業はわかりやすい。」に対する肯定的評価の割合が86.8%です。評価はAとなりますが、グラフを見ると、段々と下がってきていることが分かります。選択

肢⑤の回答が4名(10.5%)おり、「判断できない、どちらともいえない」と考えている生徒もいます。生徒の実態を適切に捉え、分かりやすい授業とはどのようなものであるかを校内で検討し、実践していきます。

質問4「わたしは、意欲的に学習に取り組んでいる。」に対する肯定的評価は89.5%ととても高い評価となり、選択肢の③、④を選んだ生徒は一人もいません。本校生徒が学習に対してとても意欲的であることが改めて数値に表れる結果となりました。

質問5「校外学習や文化学習発表会、スポーツ交流会などの学校行事は楽しく参加できた。」は、昨年度までのB評価からAへと向上しました。選択肢③、④を選んだ生徒も2名と少ないことから、多くの生徒にとって、学校行事は楽しかったと考えられます。今後も、行事後に実施する生徒へのアンケートなどをもとに、よりよい行事となるようにしていきます。

質問7「学級活動や、ライフスキル学習などの道徳、生涯学習カフェテリアなどの活動は、自分の役に立っている。」も、昨年度に比べて肯定的評価が高まっています。今後も、学級の生徒と行う学級活動やライフスキル学習などの道徳、生徒が自分の興味をもったものを選ぶことができる生涯学習カフェテリアなどを取り入れて、より生徒が自分の役にたっていると感じられる活動を行っていくようにします。

質問11「学校では、大型テレビやパソコン、タブレットを活用して授業が行われている。」に対しての肯定的評価の割合が92.1%と「学び」に関することの中では最も高くなっています。各教科の授業において、大型テレビやパソコン、タブレットなどを活用した授業が日々行われているからだと考えます。

(2) 教育相談、支援体制の充実

教育相談や支援体制に関する質問13~20では、評価Aの項目が4つ、評価Bの項目が4つあります。

質問 13 「なやみごとなどの相談を先生にしやすい。」や質問 16 「こまったとき、先生やカウンセラーさんに相談しやすい。」は、評価がBとなっています。選択肢⑤を選んでいる生徒がどちらも8名(21.1%)おり、判断できない様子が見られます。校内での相談がしやすくなるように、学級担任やコース担任が進んで声をかけたり、シャボテンログの話したいボタンの活用を進めたりしながら、日常的な会話を進んで行い、いつでも相談ができるような信頼関係を築いていけるようにします。

質問 14 「学校では、安全や健康のことについておしえてくれる。」では、昨年度に比べて肯定的評価が高くなりました。学活や道徳などでの指導が効果的であることがうかがえます。今後も生徒の実態に合わせた指導を工夫していきます。

質問 15 「学校に電話や電子メールで連絡したときの、学校の対応はていねいである。」では、昨年度の評価AからBに下がっています。しかし、選択肢③、④を選んだ生徒がおらず、選択肢⑤を選んだ生徒が9名(23.7%)もいることから、学校の対応は、おおむね丁寧であると考えます。

質問 17 「わたしは、まわりの人に思いやりの心をもって接しようとしている。」も、肯定的評価が85.2%から71.1%へと大きく下がっています。こちらも選択肢⑤を選んだ生徒が7名(18.4%)いることから、生徒のまわりの人への接し方が大きく変わったとは考えられませんが、今後も学活や道徳の時間などを通して、よりよい人との接し方についての学習を行っていければと考えます。

質問 19 「生徒ひとりひとりの違いを認め合い、大切にしあえる学校である。」では、肯定的評価が昨年より8%高くなっています。本校が目指している『違いを認め合い、大切にし合える生徒』の姿が見られています。

最後に、質問 20 「教室やトイレなど、学校の施設は、きれいで使いやすい。」も、肯定的評価が昨年より11.7%高くなっています。生徒自身が、自分たちが使う学校をきれいにしようとするすばらしい姿が表れているのだと思います。